

子宮頸がん検診（単独受診）について

<子宮頸がん検診>

子宮頸がんは、性交渉による HPV（ヒトパピローマウイルス）感染から発症し、子宮の入り口付近にできるがんです。20 歳代後半から増加し、30 歳代後半～40 歳代が多くなります。子宮頸がんは早期のうちには全く症状がありません。さらに進行するにつれて月経以外
の出血（不正出血）や性交時の出血、おりものの汚れを感じる人もいます。早期発見のために検診を受けることが大切です。

→詳しくは[子宮頸がん | 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ | 厚生労働省研究班監修](#)

<日赤健保での単独受診方法>

受診対象：20 歳～39 歳の女性（被保険者・任意継続被保険者）

※ 当該年度 3 月末日時点の年齢。

検査項目：問診 頸部細胞診検査（医師が細胞を採取します。）

受診方法：

（1）健診機関の予約

- ・職場の健康診断で受診できる方は、人事労務担当者にご確認ください。
- ・職場の健診で受診しなかった方は、個人で直接健診機関に予約連絡してください。

（2）受けられる健診機関は、日赤健保が直接契約の日赤医療機関または一般医療機関

※ 東振協提携先医療機関では健診コースの関係上、受診できません。

（3）健診の費用補助

費用補助上限額は 2,500 円です。（超過する分が自己負担となります）